



変革と混沌の時代に 未来を切り拓く人材を育てる

Ranking

全国

第4位

朝日新聞出版大学ランキング

志願倍率の増え幅
(2024年と2020年の比較)

ここ数年、志願倍率が上昇している麗澤大学。同大学が目指しているのは、これからのグローバルな社会を生きるために、実際に役立つチカラを備えた“人財”を育てること。学生と教職員数合わせて4,000人に満たない小さな大学ですが、その分、学生と教員の距離が近く、互いに意見を交わし合いながら中身の濃い学びを実現しています。

学内に留学生が多いことも特色の一つで、2025年6月現在の留学生数は世界20の国と地域から149人。留学提携先大学・交流校は世界17か国・地域の46校です。小規模ながらも多様な価値観を持つ世界中の仲間が集い、交流することで、日常生活を送りながら語学力や国際性を身につけられる環境があります。

2024年4月に工学部と経営学部を新設したことにより、文理融合の総合大学へと進化。小規模にこだわり続けてきた麗澤大学ならではの学びを体感してみてください。きっとあなたらしい充実した大学生活を送ることができると思います。



Ranking

千葉

第1位

大学卒業後の進路

2025年学部系統別
実就職率(経済系)

麗澤大学は、2025年3月卒業生の就職決定率が98.5%。毎年高い就職率を実現しています。

麗澤大学では、キャリアセンターを中心に全学部が連携することで、学生へのきめ細かな就職サポート体制を整えています。“個”にこだわった支援体制が特徴で、学生のキャリアセンター利用率は99.4%、キャリアセンターによる面談件数は3,305件、学生一人あたりの平均面談回数6.85回（すべて2024年度実績）。一人ひとりに合わせたフルオーダーメイドのキャリア支援を実現しています。相談するカウンセラーを学生自身が選ぶことができ、選ばれたスタッフが学生一人ひとりとじっくり話すことで信頼関係を築いていきます。そのもとで、個別指導を繰り返し、学生のパーソナリティを把握。希望する就職先とのマッチングを図ります。

また、キャリアセンターには職員以外にも学生の就職活動を支える学生を中心とした就活サポートチーム「就活サポーター」がいます。サークルなどに入っていないなくても、就活サポーターから話を聞くことができる環境は魅力。「就活サポーター」を利用して内定を得た学生が、次の「就活サポーター」になる。そんな「つながり」が連鎖と受け継がれています。

2026年度入試 TOPICS

- **総合型選抜**：全学部共通型と学部特色型、課外活動型の3種類。面接方式や選択テーマ発表方式、課題問題方式、ワークショップ方式、ワークショップ参加方式、資格活用方式、公務員志望方式、クリエイティブ方式、簿記資格活用方式、部活動利用方式、工学系女子生徒育成方式といった多彩な選抜方法があり、その人の得意分野で受験することが可能です。
- **一般選抜**：大学独自の個別学力試験と大学入学共通テストを利用する選抜方法です。一般前期（A・B日程）・中期・後期、大学入学共通テスト利用選抜前期・中期・後期を実施。一般前期日程は大学キャンパスのほか、水戸と大宮でも入試を実施しています。また、大学入学共通テスト利用選抜の検定料は一切かかりません。

学部/学科情報

- 外国語学部／外国語学科
- 国際学部／国際学科
- 経済学部／経済学科
- 経営学部／経営学科
- 工学部／工学科

主な Ranking Data

生徒に人気がある大学 **進** 千葉第4位

面倒見が良い大学 **進** 関東・甲信越私立大第15位

小規模だが評価できる大学 **進** 関東・甲信越私立大第25位

Information

麗澤スタンダード

麗澤スタンダードとは、時代の変化に対応するための「生涯学び続ける力」を身につける全学基盤教育。グローバル教育や道德教育、データサイエンス教育、キャリア教育を行う麗澤大学独自のプログラムです。アクティブ・ラーニングを通じて主体的に学問と向き合いながら、専門教育を学ぶための基盤や多様性への理解、幅広い教養、思考力を、文理横断・文理融合型の学びを通して養っています。

